A decorative header consisting of two groups of three circles. Each group contains one solid light purple circle, one white circle with a light purple outline, and another solid light purple circle.

男女共同参画の視点からの 表現ガイドライン



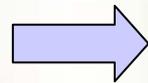
男女共同参画課

1 男女いずれかに偏った表現になっていませんか？

サラリーマンのための
〇〇制度ができました



会社で働く人のための
〇〇制度ができました



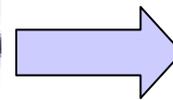
「一マン」という男性をイメージする言葉やイラストを使うと、女性は自分ではないと感じるかもしれません。

左のイラストでは男性ばかり描かれているため、女性が参加しにくい印象を与えるかもしれません。

全国〇〇大会の開催

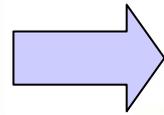


全国〇〇大会の開催



男女両方を想定した表現を！！

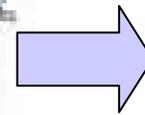
2 性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか？



弁護士は男性ばかりでしょうか。男女が様々な職業についている現実を反映させる表現を心がけましょう。また、「男は仕事、女は家庭」といった性別による役割分担ではなく、男女が仕事や家事・育児で協力している表現を心がけましょう。

男の子は球技, 女の子は縄跳びなどと性別で分けて描きがちですが, 現実には, 男の子も女の子も様々な遊びをしています

こどもは遊びで元気になる
～健康づくり週間～

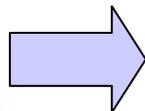


こどもは遊びで元気になる
～健康づくり週間～



固定的なイメージにとらわれない表現を！！

3 男女を対等な関係で描いていますか？



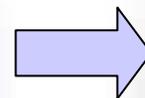
男性がいつもリーダーでしょうか。男性を中心的、指導的な立場、守る側として、女性を周辺の、従属的な立場、守られる側として描かず、男女は対等で、地位や立場も様々であることを示す表現をこころがけましょう。

被害者はいつも女性でしょうか。常に強者・加害者・守護者を男性、弱者・被害者・被保護者を女性で表すのではなく、内容に応じて様々な表現をしましょう。

儲け話に落とし穴



儲け話に落とし穴



男女対等な観点から表現しましょう！！

4 男女で異なった表現を使っていませんか？

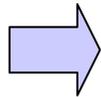
「女性」をかぶせる必要はありますか？

「女社長」？



「男社長」とは言いません

女医
女性弁護士
女性議員



職業や地位などの語頭に女性の場合だけ性を冠することは、女性を例外的、特殊だという印象を与えてしまいます。

鈴木さん よし子さん？



男性を姓で示す一方、女性を安易に名前で示すことがあります。同一広報では同一の呼称や敬称を心がけましょう。

男女の呼称の区別は必要でしょうか？

女性または男性に特有な表現や、性を冠する言葉、男女で非対称な表現を用いる場合には、あえてその表現が必要であるのか、考えてみましょう。

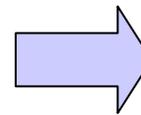
「女だてらに」？



「男だてらに」とは言いません

性に特有な表現は必要でしょうか？

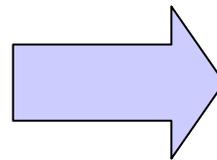
男まさり
女性ならではの
女々しい・雄々しい
男らしい判断



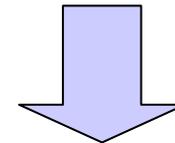
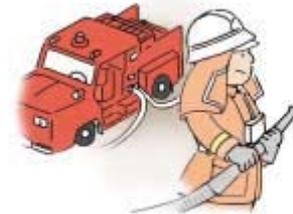
男性または女性だけに使われる表現や、性別のイメージで個人の特性を決めつけるような表現ではなく、男女いずれに対しても使える言葉を用いましょう。

5 女性をむやみに“アイキャッチャー(注目させるための視覚的要素)”にしていませんか？

火災予防週間
～気を付けて！火の始末～



火災予防週間
～気を付けて！火の始末～



火災予防週間
～気を付けて！火の始末～

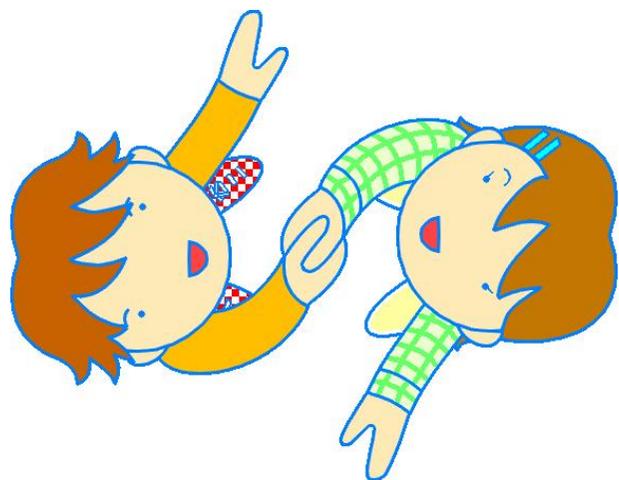
人の目を引くために、女性を飾り物として使っていませんか。内容と無関係な使い方をすると、本来の伝えたい内容が不明確な広報になってしまいます。

さらに、無難な表現で済ませず、受けての印象に残るような工夫が必要です。「誰に何を伝えたいのか」という原点に立ち戻り、効果的な広報表現を工夫しましょう。



言葉やイラストなどの表現は、繰り返し使われることにより、人々のものの見方に影響を与えます。

何気なく使っている表現が性別イメージの固定化につながることを再認識していただくとともに、伝えたい内容や対象に合わせた、効果的な表現の工夫をお願いいたします。



※このガイドラインは、平成15年3月 内閣府男女共同参画局発行「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を基に作成いたしました。